



中央公民館主催 通学合宿参加者（伊方小学校4・5・6年生）

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

8月のテーマ“体をきたえよう
先祖をうやまおう”

（実践方法）

- 家族そろって野外活動を行い体をきたえよう。
- 朝夕、先祖への拝礼を行い先祖について話し合おう。

平成19年
8月1日発行

No.28

8月号

「僕らの5日間合宿」通学合宿

三崎小学校

異年齢の子供たちが地域の身近な施設に宿泊しながら通学し、炊事洗濯等の生活体験をする通学合宿として『佐田岬風の子体験塾』が三崎小学校の4年生から6年生を対象に7月3日から7日の4泊5日間、三崎公民館を宿舎に行われました。

子供たちは初日の開塾式に顔を合わせるのと、親元を離れ外泊できる期待感でワクワク・ソワソワと楽しい雰囲気でしたが、公民館の職員から通学合宿の目的や5日間の過ごし方について、買い物、炊事、掃除を自分達で行い毎晩用意されている1時間の「ふれあいタイム」や入浴、そして学校からの宿題も当然やらなきゃいけないと説明を受けると、途端にみんなの顔色が変わっていました。そんな不安を抱きつつも、開塾式後すくさまその日の夕食と翌日の朝食の買出しから通学合宿はスタートしました。

毎日の炊事、清掃の他「ふれあいタイム」で地域の友達との交流も行いました。昔の遊び道具作りで紙鉄砲や竹トンボ、お手玉といった



驚き！静電気稲妻が

遊びを老人クラブの方に教わったり、星空観察でミルキーウェイこと天の川や夏の大三角といった星を観察しました。また、科学教室では炭や果物から電池ができた、何でも瞬時に凍らせてしまうマイナス190℃の液体窒素による超低温の世界に終始興奮気味でした。



おばあちゃんと一緒に楽しくお手玉遊び

その他、三崎高校の寮まで洗面器とタオル片手に夜道を歩きみんなでお風呂を借りたり、毎日忙しくて夜遅くまで宿題をしたり、朝眠い目をこすりこすりの朝食準備等、日常とは違う5日間の共同生活をおくり家族のありがたさを改めて実感でき、人を思いやることや助け合うことの大切さを肌で感じたのではないのでしょうか。最後の日の前日、子供たちは公民館を綺麗に掃除してくれ、トイレ等ピカピカに磨いてくれました。閉塾式の頃には、みんなの顔が少しにくましくなっていたようでした。
この事業に協力いただきました地元の方々、保護者の皆様ありがとうございました。

通学合宿(海の里) 3泊4日間 25名の参加

7月3日～7月6日 大久小学校4～6年生

子どもたちは「できれば行動する」「人に迷惑をかけないようにする」などの目標を決めて、守ることを約束し合宿に臨みました。家には帰らず、瀬戸公民館四ツ浜分館で寝食をともにし、家事の全てを自分たちで行いながら学校に通いました。食事はお母さん方に料理の仕方を教わりながら作り、洗濯はみんなの衣類を洗いました。子どもたちにとっては多忙な面もあったと思いますが、合い間を縫いながら、宿題をするなど、自分たちで計画を立て考えながら生活をしていきます。

家族以外の人と食事をする。

みんなと一緒に宿題する、寝る、など、それは毎日の生活とはちよつと違ったことだったと思います。大人に叱られることもありませんが、子ども達はそのような生活を楽しんでいます。



最後に子どもたちの為に世話を焼いて頂いた保護者の方々にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

通して、日常生活の基本(食材の買出し、食事の仕度、清掃、洗濯)を団体生活の中で実践したことは大変意義深いことだと思えます。結果、自立心や社会性、協調性を高める意識が、少しかもしれませんが芽生えたことと思えます。この体験が、これからの生活に活かされることを期待しています。



通学合宿「伊小つ子チャレンジスクール」

伊方小学校 4～6年生 14名参加

7月2日(月)から7月6日(金)までの4泊5日間、伊方の4・5・6年生の児童14名が、伊方町民会館、生涯学習センターにて通学合宿を行いました。

この事業は、異年齢の子ども達が、集団で身近な施設に宿泊しながら学校へ通学し、炊事、洗濯、清掃、買い物などの生活作業を直接体験することによって家庭や親の大切さを認識するとともに、他人を思いやる心や協調性、自主性、

倫理観など豊かな人間性を育てることを目標に中央公民館が開催したものです。

子供達は、「自分のことは自分でする」、「班の人と協力をする。」を目標に望みました。

最初は、ぎこちなく戸惑ったが、指示待ちのことが多かったですが日を重ねることに、自分たちでスケジュールを考え、早め早めの行動をするなど、工夫して班で協力しながら取り組むことができました。



肝試し

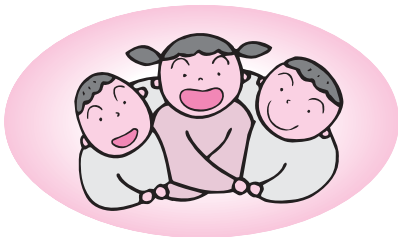
また、空いた時間に宿題をしたり、日記を書いたり、学校に持って行く水筒や箸などの洗いや拭きをしたりと忙しい合間を縫いながら、自分たちで考えて生活することができました。



ロープワーク

ふれあいタイムでは、ボウリング大会やロープワーク、映画に肝試しなどいろいろなことにも挑戦しました。最後の日には、実行委員会主催のバーベキューをしました。食事の合間に子供達の発表や出し物をして、とても盛り上がりました。

この通学合宿を通して、子供達は家庭の大切さや親のあ



りがたさを実感して学んでくれたものと思っています。また、自分たちの力でも料理や洗濯などやればできるという自信が芽生え、一回りも二回りも大きく成長したかと思えます。最後に、この事業にご協力下さいました先生、保護者の方々、地域の方々には多大な協力を頂き、この場を借りて皆様に厚くお礼を申し上げます。皆様のおかげで大変有意義な通学合宿になりました。ありがとうございました。



みんなでいただきます！



おいしいごはんできるかな？

紅梅学級開講式

6月22日(金)に紅梅学級の開講式を行いました。

当日は、1年間の活動計画を話し合っ
て決め、その後近頃よく耳にする『メ
タボリックシンドローム』について伊
方サービスの健康運動士の西野吉幸
さんに講話と毎日続けられる簡単な
体操を指導してもらいました。

近年、過食や運動不足によって内
臓脂肪が蓄積し、高血圧、高脂血症、
糖尿病など複数の生活習慣病を合併
する人が増えています。これらの病
気はお互いが密接な関係をもって発
生しており、多く合併するほど動脈
硬化を促進して脳梗塞や心筋梗塞な
どを起しやすくなります。このよ
うな肥満、高脂血症、高血糖、高血圧
といった動脈硬化の危険因子をいく
つも併せ持った状態のことをメタボ



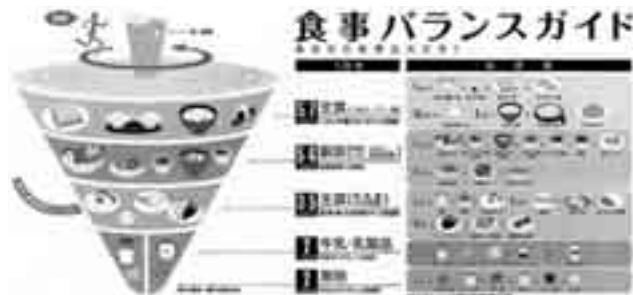
中央公民館

リックシン
ドローム(内
臓脂肪症候
群と呼びま
す。それを
引き起こす
最大の原因
が肥満特に
内臓脂肪型
肥満です。

肥満は、
摂取した糖
質・脂質の
カロリーが
消費・燃焼
しきれず、
過剰なエネルギ
ーが体内で中性脂肪
に蓄積されてしま
っている状態です。

肥満の予防・改善のためには、規
則正しい食事で腹八分目、どか食
いはしなくても、生命の維持はでき
ます。たばこは控え、ストレスをお酒
で解消したりせず適量を心がけ、
そして、適度な運動を定期的にとつ
て行うように規則的な生活を心が
けてみてください。

学級生の皆さんも90cmのひもを目
の前にして、自分のウエストに巻い
て余る人、又少し足りない人など
様々でしたが、まずは自分の体の状
態を知ることから始めましょう。



スタイル改善教室

6月15日〜7月6日の毎週金曜日にス
タイル改善教室を行いました。

定期的な運動習慣がない人は、加齢とと
もに体力が落ち、病気に対する抵抗力も弱
まってきます。ただ、無理矢理ハードな運
動をしても続かず、かえって身体を傷めて
しまったりすることもあります。この教
室で自分にあった運動方法を知り、自分の
身体をシェイプアップして生活習慣病予
防に役立てることを目的としています。

生活習慣病は毎日のよくない生活習慣
の積み重ねによってひき起こされる病気
で、日本人の3分の2近くが、これで亡く
なっているとされています。また、その
人の持っている遺伝的要因や、環境的要因
も重なり合って起こってくる疾患である

町見公民館

ので子ども
時から健康を
守るための生
活習慣を身に
つけておくこ
とが必要であ
るとも言われ
ています。

講師には八
幡浜市在住の
西野吉幸先生
を迎え学級生
13名が参加。
講師から筋肉
をつけ脂肪を
減らしてスタイルを改善するための知識
や運動方法等の講義のあと、実際の運動
では有酸素運動・筋力トレーニング・ス
トレッチを組み合わせたサーキットトレ
ーニングを採用し指導をいただきました。

公民館では生活習慣病を予防し健康的
な生活を送っていただくためのきつかけ
づくりとして実施したもので、4回と少
ない回数ではありましたが、学級生はお
互いに身体の動かし方を見て指導しあ
ったり普段の生活での運動量等を話し合
ったりと楽しみながら爽やかな汗を流し
ていました。

また、この教室で学んだことは継続し
て実践していただき、家族や友人にも教
えていただきたいと思います。



ちぎり絵教室

瀬戸公民館

瀬戸公民館では、5月から月一回の計画でちぎり絵教室を始めました。公民館講座としては、初めての試みです。講師は地元三机の河野ツル子先生です。参加者の皆さんはちぎり絵は始めての方がほとんどですが、先生の丁寧な指導のもとで作業を進めています。

初回の作品は、きょうり、びわ、あやめの三種類。型をとり、和紙をちぎり下絵の上に糊付けをしていきま



す。出来上がりの作品に皆さん感激するとともに早速次回の作品づくりにやる気満々の様子です。

お披露目として、瀬戸町民センターロビーに展示しています。

興味のある方は、瀬戸町民センター(57-2111)へお問い合わせ下さい。



今年も盛況

小学生交流ドッジボール大会&ジャンボソーメン流し

三崎公民館

三崎地域の二名津・三崎・佐田岬の3小学校の児童を対象とした小学生交流ドッジボール大会が、校区を越えた児童の交流を深めることを目的に6月24日、三崎総合体育館で伊方町体育協会三崎支部及び三崎公民館の共催で行われ、昨年度よりも10名

多い127人が参加しドッジボールで楽しく熱戦を繰り広げ、ジャンボソーメン流しで元気にお腹を満たしました。

子供たちにより楽しんでもらおうと昨年からジャンボソーメン

ン流しを実施しておりますが、これに加えドッジボールでももう少し楽しめたらと低学年と高学年の体力差を考慮し、今年は1年生から3年生までの「低学年の部」と4年生から6年生までの「高学年の部」の2部門に分けて実施してみました。

子供たちは、当日学校に関係なく無作為に低学年の部と高学年の部、それぞれ4チームずつに分けられ各部でリーグ戦を行いました。高学年の部はスピードのあるボールを投げあい、それを捕ったり避けたりとスリリングな試合を展開し、低学年の部では、昨年までボールが柔らかいとはいえ六年生の迫力あるスピードボールに怯えていた低学年の児童も、今年はあまり体力差のない者同士で伸び伸びと試合をしており、どちらの部も和気藹々とドッジボールを楽しみつつ校区外の友達と交流を深めていました。そしてドッジボールで爽やかな汗を流し楽しんだ後は、屋外



に体協役員やボランティアの皆さんが何日も掛けて作った、ジャンボ青竹の流し台にソーメン流し、竹の白い肌にキラキラと輝く水の流れてくるソーメンを大はしゃぎですくい、寄付でいただいたスイカやスモモと一緒に元氣いっぱい夏の旬をいただきます。

また、この事業には、今年も多くの皆様のご協力を賜り実施できましたことを心よりお礼申し上げます。



学校通信



江田島自然教室

伊方中学校

本校では、毎年二年生が広島県国立江田島青少年交流の家で二泊三日の自然教室を実施しております。本年度は、七月三日から二泊三日で実施しました。この活動について紹介します。

この活動の大きな目的は、集団行動を身につけることと平和学習を通して、平和の尊さを考えることです。

まずカッター訓練では、所員の厳しい指導のもと「全員で協力を」「笑わない」「全員がしなければ意味がない」「三つの心得を全員が忠実に守り真剣に取り組むことができました。この活動を通して、みんなで力を合わせ真剣に取り組むことの大切さと喜びを実感したと思います。

第一術科学校の教育参考館を見学しました。第二次世界大戦で、自らを犠牲にして国のために散っていった若き特攻隊員の遺書を真剣に見入っていました。生徒達は、戦争の悲惨



さと命の大切さ、さらに平和の尊さを改めて学ぶことができたのではないかと思います。「五省」という資料についても説明を受けました。海軍兵学校では、夜間自習五分前にこの五項目について自省自戒したそうです。

五省

- 一 至誠に悖るなかりしか
- 一 言行に恥ずるなかりしか
- 一 氣力に欠くるなかりしか
- 一 努力に憾みなかりしか
- 一 不精に怠るなかりしか

最終日には、ディスク・ゴルフをして班員の親睦も深めることができました。

天草採り

佐田岬小学校

恒例となっております天草採りが今年も6月1日(金)に行われました。



今年は、山内副会長さんを指導者に迎え「またえもん」という天草に間違えやすい海草を教えていただきました。高学年はさすがに手馴れた様子で、低学年に採り方を教えていました。

採取した天草を4、6年生が天日に干し、1、3年生がひっくり返す作業も順調に進んでいます。

この様子を愛媛新聞からも取材に来ており今回は、「伊方げんき新聞」として伊方町が特集されます。7/16(月)20(金)集



その中に6年生が天草を干している写真が紹介されることになりました。お楽しみに！ふるさとの海の恵みに感謝し、はやくおいしいところでんや寒天を食べたいものです。

自由参観日

九町小学校

毎年恒例の「親子スポーツ大会」

今年、九町小学校にお迎えした道岡校長先生他六名の先生や新入生四名の歓迎を込め

て、和気あいあいと行われた。今年も、例年のドッジボールに、大玉転がし、しっぽ運び、玉入れの種目が加わり、今までと一味違った大会であった。子どもはもちろんのこと、保護者もこの日のために、体力作りに励む？

午前中の授業参観の後、午後から体育館では、三十三名の児童と保護者、教職員が熱い汗を流す。それぞれの競技で好プレーが見られ、子どもたちはとても生き生きとした表情で保護者や教職員を楽しませてくれた。

夜の部は、保護者と教職員



の懇親会である。昼間の疲れも何のその、子どもを肴に盛り上げる。地域に根ざした、特色ある学校づくりを進めるため、「地域が教室、地域の人々が先生」の合い言葉のもと行われる秋季大運動会が、今からとても楽しみである。

伊方スポーツセンターを遊ぼう

☆ 8月の休館日のお知らせ ☆

休 館 日
8月 6日(月)
8月13日(月)
8月20日(月)
8月27日(月)

☆ 施設の開館時間 ☆

施設名	開館時間
プ ー ル	9:00~21:00
トレーニングルーム	9:00~21:30
アリーナ	9:00~21:30
卓 球 場	9:00~21:30
会議室・研修室	9:00~21:30

お盆も休まず開館いたします。



● 詳しいお問い合わせは、
下記にご連絡下さい。

伊方スポーツセンター

☎ 38-1100

☎ 38-0776

'07 ライフアツプ講座のご案内 (第1回)

心の豊かさや教養を高め、実社会での知識や技術を習得していただくための講座です。

- 日 時 平成19年8月21日(火) 18:30~20:10
- 場 所 伊方町庁舎 3階会議室
- 内 容 開講式・オリエンテーション

色で気づく「自分らしさ」

暮らしの中にあふれるさまざまな色彩。あなたが選ぶ色から自分を見つめ、自分らしさに気づきましょう。そして自己を肯定的にとらえることで、他人との対等な関係づくりを目指してみませんか？

- 講 師 スピリチュアルヒーリング アズ
代表 水月 みゆきさん
- 対 象 者 18歳以上の男女 約20名
- 受 講 料 無 料
- 申 込 方 法 8月17日(金)までに住所・氏名・電話番号を
生涯学習課へご連絡ください。
TEL 38-2661 FAX 38-1179

児遊館より

ポヨヨンロケットを作っちゃおう！

8月18日(土)午後2時から、ポヨヨンロケットを作っちゃおう！

参加される方は当日時間までに受付にお越し下さい。

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館

38-1020

映画上映会のご案内

8月11日(土)児遊館にて映画上映会を行います。
室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 スティッチ

上映時間 1回目 10:00~11:30

2回目 15:00~16:10

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館

38-1020

全国大会出場 大久陸上クラブ

小学男子4×100mリレー

県大会

第1位 記録 53秒80

6月24日(日)県運動公園で開催された日清カップ：全国陸上競技交流大会選考会ですばらしい成績で第1位になりました。

今年8月に世界陸上が開催される大阪市長居陸上競技場で、一足早く7月28日に開催されます日清カップ：全国小学生陸上競技交流大会に出場します。



選手のコメント

阿部 治貴

陸上カーニバルでは1走を走り、優勝できたのでうれしかったです。日清カップでも1走を走りました。全国大会をねらっていて、ねらい通り優勝できたのでうれしかったです。全国大会ではベスト記録を出したいです。

佐々木 泰洲

陸上カーニバルでは、百メートルは2位だったのでリレーで優勝できてよかったです。日清カップは優勝したら全国大会だったので、チーム一丸となつてがんばることができました。タイムもよく優勝できてよかったです。



個人でも入賞

男子 80mハードル

第2位 記録 13秒03

濱本 翔太

ぼくはリレーの3走です。陸上カーニバルの時は、優勝できるよきに一生けん命走りました。日清カップは、全国大会がかかった大会だったので、いつも以上にがんばって走りました。全国でもがんばります。

福島 大海

ぼくは陸上カーニバルではアンカーでした。百メートルはいい記録が出ず、リレーでがんばろうと思っていました。バトンパスはちょっとミスをしたけれど、一番でゴールしたときには、とてもうれしかったです。



ブルーの明かりで 地域をまもろう!!

この取り組みは、全国的に子供たちが犯罪に巻き込まれる事件が多発している状況を踏まえ、県内の小学校(356校)に青色パトローラーを一斉に配備することにより、見守り隊などの防犯パトロールを一層強化すると共に、地域の防犯抑止力を向上させ登下校時の児童の安全確保を図るものです。

伊方町内の小学校11校においても、9月3日の県下一斉の青色防犯パトロール開始にむけて準備を進めているところです。自家用車などに青色の回転灯を取り付けて、防犯や子供の見守りを行います。学校と地域が連携し、それぞれの地域にあった形で登下校の見守りや夜間パトロール等の活動を実施したいと思います。ご協力をお願いいたします。



伊方町スポーツ少年団

交流大会 開催

7月8日(日)三崎小中学校グラウンド・三崎総合体育館を会場に伊方町スポーツ少年団交流大会が開催されました。

この大会は、町内のスポーツ少年団員の交流を目的に実施している事業で、今年度もソフトボールとミニバスケットボールの2種目がおこなわれました。

大会当日は雨の心配もされましたが、子供達の元気な笑顔とハツラツとしたプレーは、雨雲を吹き飛ばし、さわやかな佐田岬の風を呼びました。



第二回

伊方町レクバレー

交流大会 開催!!

9月2日(日)、

伊方スポーツセンターにおいてレクバレー交流大会を開催いたします。

日頃、地理的條件により町民間でスポーツに親しむ機会の少ない住民

が一堂に集い、積極的に交流を行うため「レクバレー」を通じて親睦を深めていこうというものです。

伊方・瀬戸・三崎の三地区の交流を目的に初心者、熟練者問わず、どなたでも参加できます!!

皆さんの参加をお待ちしています☆
詳しくは、

- 本庁生涯学習課(TEL 38-26661)
- 中央公民館(TEL 38-1020)
- 町見公民館(TEL 39-0212)
- 瀬戸公民館(TEL 57-2111)
- 三崎公民館(TEL 54-1114)

まで。



関連行事

真夏の夜の調べ

8月4日(土) 19:00~21:00

夏の夜空を仰ぎつつ、館蔵資料のレコードを蓄音機などでじっくり聴いてみましょう♪

入場無料

ビンテージ - 新収蔵資料展 -

2007年7月22日~9月24日



町見郷土館から

町見郷土館で最近収集された新しい資料と、それをコツコツ整理調査する博物館の活動をご紹介します。

新しくなった常設展示も必見!

◆ 今月のきょうどかん ◆

2007年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■=おやすみ □=夜間開館
休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30~16:30
休館 月ほか

三机のハッテングウは、二人の戒名と幕末期の「安政」や「明治」の年号が見えます。手がかりの少ない中、調べていくと、肥前県



現在のハッテングウ(上)と、そこで見つかったとされる獅子香炉(下)。2007年7月撮影。

三机小学校の裏山には、知る人ぞ知る「ハッテングウ」と呼ばれる場所があります。現在は潰れてしまっていますが、昔は山頂に小さなお社があったそうです。子供の頃の遊び場として覚えておられる方もいらっしゃるでしょう。

どんな方がお祀りされていたか、誰がお世話していたか、ほとんど分かっていません。現在の山頂には、石積みと瓦と石の大師像等が残るのみ。お墓の一部らしき台石には、二人の戒名と幕末期の「安政」や「明治」の年号が見えます。手がかりの少ない中、調べていくと、肥前県

三机のハッテングウは、二人の戒名と幕末期の「安政」や「明治」の年号が見えます。手がかりの少ない中、調べていくと、肥前県

取材協力 三机・宮下寛さん ほか

佐田岬民俗ノート 27

平成六年、当時の瀬戸町の調査では、社の跡地から色絵付が施された陶器の獅子香炉(高さ21cm)が見つかったそうです(時代・産地不明)。有田・伊万里焼で有名な肥前地方縁の社だとすれば、瀬戸内交易の要所・三机らしい社といえそうですが、実際は…? うん、もう少しよく調べる必要がありますね。今後の宿題にしておきましょう。

謎の部分もまた魅力。渦中のハッテングウは、今日も森の中でひっそり、獅子香炉だけがその歴史を知っています。

参考文献 『日本の神仏の辞典』(大修館書店2001年)ほか



図書館だより



今月の新刊

○子ども向け

- だめだめすいか／白土あつこ 作・絵
- うみのポストくん／山下明生 文、村上康成 絵
- カエルくんのみずたまり／宮西達也 作・絵
- せとうちたいこさんのわらべうたうたいタイ
長野ヒデ子 作・絵
- どうぶつ句会 オノマトペ／あべ弘士 作・絵
- みんなのノート 中学生の巻／金子由美子 著、橋本早苗 著
- 健太がゆく／小松健太 著
- 河童のクウと夏休み／木暮正夫 作、こぐれけんじろう 絵
- 真珠のドレスとちいさなココ
ドルフ・フェルルーン 作、中村智子 訳
- ポータブル・ゴースト／マーガレット・マーヒー作、幾島幸子 訳 ほか

○一般向け

- 夜明けの街で／東野圭吾 著
- 正義のミカタ／本多孝好 著
- るんびにの子供／宇佐美まこと 著
- 明日この手を放しても／桂望実 著
- 核時代の想像力／大江健三郎 著
- 俺たちの教育論／アニマル浜口・横峰良郎 著
- 残しておきたい日本のこころ／重松清 著
- 人の痛みを感じる国家／柳田邦男 著
- アパルーサの決闘／ロバート・B・パーカー 著、山本博 訳
- 伊丹十三の映画／「考える人」編集部 編
- 子ども大変時代／産経新聞「生命」取材班 著
- わが子に就かせたい職業／冬木良二 著
- 戦艦「大和」の博物館／小笠原臣也 著
- ゲージ革命の衝撃／NHK取材班 編 ほか



利用案内

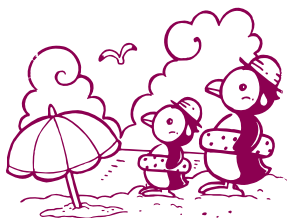
- 開館日／火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）
祝日・月末図書整理日・年末年始（12月29日から1月3日）・蔵書点検日

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）
伊方町湊浦1992番地
TEL (0894) 38-0607 FAX (0894) 38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

8月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□…休館日



ピップスおはなし会のご案内

8月のおはなし会は11日(土)・25日(土)
の午後2時から30分程度

■対象：未就学児童・小学校低学年
児童および親子

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。
みんな来てね!





四国地区人権教育研究大会に参加して

伊方町立瀬戸中学校 中島慎二郎

第54回四国地区人権教育研究大会が徳島市において開催されました。本研究大会は、これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、人間の尊厳と人権の確立をめざした研究と実践の交流をとおして、今後の人権教育の在り方とさまざまな人権問題を解決することを目的としており、数多くの分科会において、実践発表がなされました。

全体会の基調提案では、人権教育を推進するための共通認識として、五つの視点が提起されました。その五つとは、「正しく見つめる」「正しく理解・認識する」「違いを認め合う」「語り合いを共感し合う」「つながり合い共生し合う」です。人権教育の大切さを再認識した全体会でした。

分科会「進路保障B」では、一人ひとりの子どもの進路保障をどのようにすすめていくかという課題で討議され、「進路保障は同和教育の総和である」と言うことを学習しました。

徳島県立勝浦高等学校では、「就職差別につながる」とされる十四項目が人権課題とされており、進路指導と人権課題相互の関連性に着目しながら実践力を養い、課題解決に向けた学習を進められていました。

今治市立鳥生小学校では、不登校傾向のある子どもとのかかわりをとおして、一人ひとりを大切に作る学校づくりがなされていました。担任と生徒指導主事を中心に学校全体がまとめ、家庭事情など、様々な困難条件のために不登校傾向にある子どもに対する取組が紹介されました。

分科会「大学教育」では、国籍をめぐる処遇を中心とした「在日コリアンの歴史と現在」について、討論がなされました。差別の歴史や実態の生の声が聞け、大変参考になりました。

今回、研修させていただいたことを、今後の学校教育に生かしていきたいと思えます。



三崎総合支所総務課 矢野秋生

第54回四国地区人権教育研究大会が、7月5日と6日の2日間の日程で徳島県徳島市「アステイとくしま」を主会場にて開催されました。

今年の梅雨は雨に恵まれず、ややもすれば農作物の被害を懸念しておりましたが、ここ2、3日まとまった雨が降り続け、出発日も午前中は激しい雨となりました。しかし、午後からの出発時には、私たちの安全を見守るかのようにつきり雨も上がり、総勢28名を乗せた庁用バスは、ほぼ満席で一路徳島へと走行する。

「四国はひとつ」の合言葉のもと、半世紀の歴史を重ねて54回目の大会でありました。

53年間の研究と実践により、同和問題をはじめ人権問題の解決は着実に成果をあげてきましたが、今なお根強く差別は存在し人権侵害は後を絶たず、少子高齢化等の社会変化に伴って、新たな人権問題が生じています。今大会はこれまでの成果と手法を大切に、人間の尊厳・人権の確立を研究と実践を通して、これからの人権教育の在り方と人権問題を解決する道筋を明らかにすることを目的に開会されました。

開会行事後のアトラクションにおける雌雄2頭の獅子舞は、日頃1頭での獅子舞を見慣れているせいのか珍しく感心いたしました。

午後、引き続き行われた分科会は、場所を「徳島県郷土文化会館」に移動して参加いたしました。

〇(人権確立をめざす地域の教育力をどのように創造しているか)を、研究主題として地元、徳島県を始め、各県からそれぞれの報告が行われ、それに伴っての質疑・意見等が活発に行われました。特に、高知県黒潮町の「テレワークが蘇らせた命」と題しての報告には、ややもすれば障害者等には保護を目的としたサービスが見受けられやすいが、「人生の中で仕事(役割)がなければ、生き甲斐を得られない、経験や技術を生かしてこそ本当の人間回復ができ、人として生きる権利を保障できる」ということを学ばせてもらいました。この報告から、人が人として尊重されるためには、保護されるだけではないいけないこと・「保護より機会を」との事例に改めて再認識いたしました。

報 文 芸

俳句

野の花句会

裸にて生きる楽しみ梅雨晴間
松田紋司朗

法螺の音や御神像仰ぐ山開き
上口久志

行商女美味し水鳥賊春の海
上田文男

夕顔に佇ちて吹かるる風呂上り
古田かずゑ

大夏木蔭にも力ありにけり
岩見愛子

音立てて越前冷酒飲み下す
菊池あつ子

敷草にころりころりと青メロン
大沢昭子

城若葉赤き鼻緒の園児たち
林そで子

カラフルな傘並び居る梅雨晴間
川縁秀子

西瓜食ぶ媪雫を掌に受けて
山田美恵子

独りとは心もとなし夏に病む
岩井ふみえ

灯台に立ち写さるる夏帽子
得能カツミ

大吊橋渡る間に晴れ夏の霧
西山美津子

傘さして巡る湯の町合歓の花
得能悦子

涼む閨源氏螢の舞踏会
後町美智子

小暑や朝の読経の母の声
千代女

歩履四更蔬果に見えて華胥の郷
城岡正治

さざなみ句会

母郷尊し四号台風「喜雨」と書く
中谷段々子

いささかも妥協ゆるさぬ親つばめ
丸川一彦

摘果すや小陰をえらぶ玉の汗
松本光女

夏あざみ縁断ち切る左右鼻
宮部タミエ

たにし池人かげもなし亡母の里
今川キクエ

うぐいすと鳴きさきそうわれしんげんに
今川又一

夕立や軒を出られぬ顔と顔
大谷勉

追憶は農といくさに泣きしこと
宮本マサ子

郷の川流れのんびり蛇渉る
大川昇太

ひんやりと木陰を通る夏の風
石田満

夏休み子供の声に沸く浜辺
川口篤夫

初盆に故人を偲んでよもすがら
神原貞規

短冊の願い見つめる天の川
木村運徳

暑き日の葉かげに見つけし胡瓜かな
山内徹

百雷の中の一発宙に散る
中村豊

梅雨明けぬそうめん流し待つ子らに
小西紀代子

ひとときの倅せ求め秋の旅
山内須磨子

こほろぎの声のほかに音もなし
山内良子

梅雨深かし木立の幹をこがし
阿部八重

恥をかき恥かかされて八十路
星里空女

九十のおんな盛りを生きてい
谷口ハナエ

あとふたつ待つや金婚祝ぐ盆
中谷はる子

川柳

伊方町川柳会

終戦の日にも見たつけ入道雲
田村智子

イライラもおいしい物で消えて行く
徳内郁

恙なく折り合いつけて共白髪
上田文男

釣りの人魚は釣れず魚買う
井上良枝

解る嘘眞顔で聞いている利口
山崎美喜

川柳と俳句の違い世を穿つ
池田君子

花の雨遣らずの雨と若葉雨
門田千枝

コンビニが夜を昼にして客を呼ぶ
松坂正子

他所行きを買って夢見る女で
木戸恵津子

一言を呑んで話題が丸くなり
篠川佳津子

ふれあいの競技に笑い拍手湧く
菊池真志江

川柳会三崎支部

ひろしま目の先永久に原爆忌
中谷段々子

クロッキー孫に手ほどき老選
山内徹

物忘れ他人の雨傘持ち帰る
石田満

雑草にトランペットは勝って
葉月渚

孫ひ孫よろこぶ西瓜庭に待つ
谷口ハナエ

子の嫁は団地サイズの西瓜切
中谷はる子

